大阪狭山市行財政運営戦略大綱(案)、大阪狭山市行財政運営戦略プラン 2025(案)
パブリックコメントで提出された意見及びそれに対する市の考え方

募集期間 令和7年1月10日(金)から1月31日(金)まで
意見件数 2件(2名)

提出された意見及びそれに対する市の考え方

	意見・提案の内容(要旨)	市の考え方
1	<p>(行財政運営戦略プラン2025(案)に対する意見)</p> <p>狭山池の駐車場を桜の季節だけでも料金収集したり、狭山池の龍神伝説などを活用した、グッズの作成やスポットの設置などの観光収益などを検討してはどうか。</p>	<p>大阪狭山市行財政運営戦略大綱(案)においては、4つの取組方針の1つである「既存事業の見直し」の中で、「(1)財源確保の取組みの推進」について定めており、大綱に基づき策定する本プランにおいても、個別の財源確保の取組みについてまとめています。</p> <p>いただいたご意見も参考にしながら、財源確保に向けた取組みを推進してまいります。</p>
2	<p>(行財政運営戦略プラン2025(案)に対する意見)</p> <p>デジタル化や既存事業の見直しなどで効果額16億円と試算されています。効果額は市民の負担軽減に繋がるのか。</p> <p>いま、市民は物価高や社会保険料・電気ガス・水道料金などの引き上げで生活は大変苦しくなっており、加えて賃金や年金は、物価上昇に追いつかず交通費の負担も大変大きくなっている。</p> <p>市の財政運営を、民間の手法で効率化や民営化で効果額のみ追求では、さらに市民負担を増やすことになり、住みにくい大阪狭山市になる。</p> <p>住みやすい大阪狭山市のために、市民負担を軽減してほしい。多くの皆さんの声を大切にする市政を望む。</p>	<p>本プランの策定にあたっては、財源の捻出に特化した取組みではなく、「大阪狭山市行財政運営戦略大綱(案)」の考え方に基づき、市にストックされている「ヒト・モノ・カネ・トキ」といったあらゆる経営資源を最大限活用しながら、必要に応じて機能やサービスの選択と集中、更新や拡充等といった取組みを進めていきます。</p> <p>経営資源活用の極大化を念頭に置いた取組みを通して、戦略的に行財政運営を推進していくことにより、安定した財政基盤の確立を図り、市民ニーズを踏まえたサービスの向上につなげていきます。</p>